

2008年8月に入会した藤井千恵子と申します。

その頃の私は手賀沼にある「アルバトロスヨットクラブ」の会員でした。5月の日曜日 ヨットクラブの昼休みに おかめ食堂で食事しているとドヤドヤと入ってきた男女グループ。その中には 最近退会した濱口さんが。彼はヨットクラブの仲間だったので顔見知り。その集団は音楽仲間だということで 我孫子オーディオファンクラブの存在を知りました。その頃 AAFC は元市役所(現 名戸ヶ谷あびこ病院、手賀沼大橋近く)にあって その部屋の一部を例会場所として使用していたのです。そして後日濱口さんの紹介で AAFC に入会させていただきました。

我が家にはまだ再生装置がなく(引っ越し毎の変遷あり) やはり自宅でもよい音で聴きたい。そこで機材を購入したいと理事さんに相談したところ それではと紹介されたのが石田さん。希望は真空管のアンプとベランダで聴くためのヘッドホンが欲しいと言うと 金額に見合うものを揃えてくれたのですが 何とスピーカーがありません。するとスピーカーはコレクターが会員に居るので分けて貰えばよいとのこと。その後スピーカーはベッド周りで聴くための小さな30センチ角の小さなものと なんと大型ダイアトーンにターンテーブル付きセットが運び込まれ それは1年以上も我が家の廊下に放置されていました。そんなこんなの 再生装置設置の再出発でしたが その後スピーカーは 形変われば 音変わるの持論にそって 折にふれ多種のスピーカーが我が家に。

目下3部屋 に12セット。我が家を通り過ぎていった物は 4セット以上。と相成った次第。

その間 北側の部屋では 歌謡曲・演歌中心の居酒屋「山姥(やまんば)」を時折開店し 南側の「サロン・ド・チコ」では ピアノソナタ「月光」の聴き比べはじめに ワーグナーの楽劇「ニーベルンゲンの指輪」4作を毎月鑑賞し その後はオペレッタや映画もと それなりに開催しておりました。

ここ10年近くは住まいする団地の会合が多く しばらくはご無沙汰しております。

さてそろそろ終の棲家を整理すべく とは思うもののいまだに各種収集癖は収まらず つい先日もコレクター清水亭へ行って又 形変われば 音変わるの変形？物を譲ってもらう始末。 三つ子の魂百までもの實踐をしています。

母のお腹の中からお隣のお姉さんの弾くピアノ音を聞き ラジオからは浪曲・漫談・箏曲・三味線・ジャズ等など 耳にして育った私。

タンゴの生演奏は新橋「夜来香」で。 ジャズは新橋「フロリダ」で。 シャンソンは・・・。
と何かにつけて兄や姉に連れられて お相伴で聴くチャンスに多々恵まれました。

高校生の頃は オーケストラ演奏会に定期的に行き 帰路は横須賀線車内で指揮をしていた上田仁さんとご一緒したりと 今考えるとそれなりの分野の重鎮の方々とお近づきでした。

その後フルオケを卒業し モーツァルト協会へは毎月フリーパスで出入りし 今は西洋古楽にハマって 特に中世ものが好き。

演奏家の方々とも懇意にしていただけるので とどまることのない音楽世界を楽しんでおります。

踊りが先か 音楽が先か。 どの時代でもどの地方でも同じような現象の発生。
これは 永遠の謎。

2024. 4. 23 記



乱雑に置かれた我が家です！

